

Ⅲ 今月のトピックス

【オーストラリアの降水状況と小麦生産見通し】

1 オーストラリアの小麦生産の概要

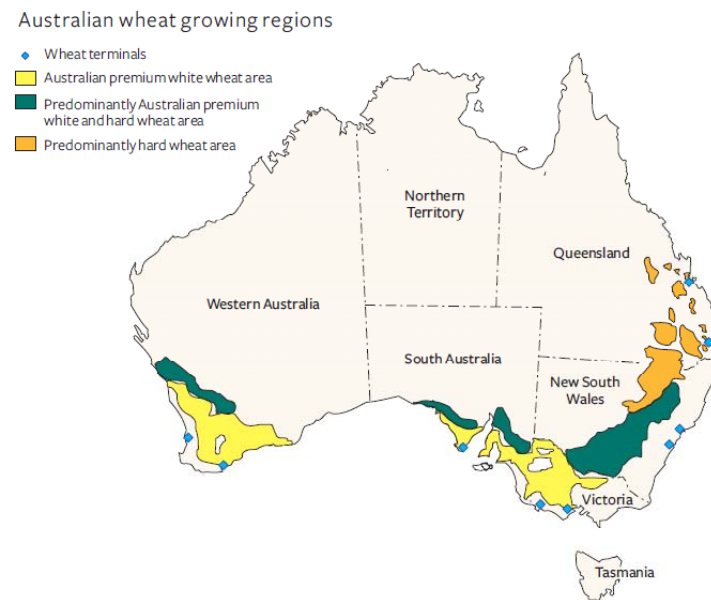
オーストラリアでは、干ばつなどの被害がなければ年間2,000～2,500万トン程度の小麦が生産されており、主要な生産地域は、ウェスタンオーストラリア州、サウスオーストラリア州、ビクトリア州、ニューサウスウェールズ州及びクィーンズランド州である。

2008/09年度の生産見通しでは、ウェスタンオーストラリア州とニューサウスウェールズ州が全体の3割強を占め、サウスオーストラリア州とビクトリア州が1割強を生産すると見込まれている。

オーストラリアでは、これまでも数年毎に干ばつによる小麦の減産が生じているが、昨年度及び一昨年度は2年度連続で干ばつが発生し、両年度とも生産量が低水準となっている。昨年度は、特にニューサウスウェールズ州などで大きく減産しており、今年度の動向が注目されている。

なお、我が国は、オーストラリアから主にウェスタンオーストラリア州で生産されている小麦を麺用として輸入しているが、オーストラリアとの良好な関係を築いてきており、過去の干ばつによる小麦の減産などで輸出量が減少した年においても、一定の輸入量が確保されている。

図－1 オーストラリアの小麦生産地域



資料：ABARE「Australian crop report (17 June 2008)」

表－1 オーストラリアの小麦の作付面積及び生産量（州別）

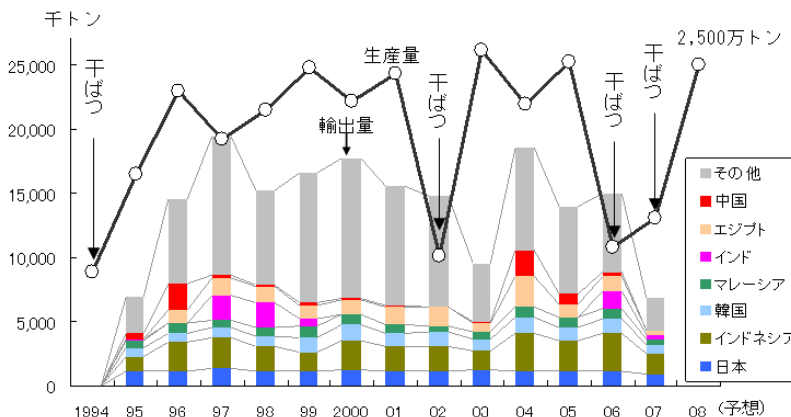
単位：千ヘクタール、千トン

		オーストラリア	ニューサウスウェールズ	ビクトリア	クィーンズランド	ウェスタンオーストラリア	サウスオーストラリア
作付面積	2008/09 (予測)	13 971	4 000	1 600	1 000	5 200	2 162
	2007/08	12 345	4 000	1 500	580	4 100	2 156
	5カ年度平均	12 375	3 677	1 327	686	4 657	2 021
	対前年度比 (%)	113.2	100.0	106.7	172.4	126.8	100.3
生産量	2008/09 (予測)	23 680	7 412	2 841	1 567	8 322	3 506
	2007/08	13 039	1 800	1 850	910	6 100	2 346
	5カ年度平均	18 828	5 588	1 950	975	7 592	2 696
	対前年度比 (%)	181.6	411.8	153.6	172.2	136.4	149.4
	構成比 (%)	100.0	31.3	12.0	6.6	35.1	14.8

資料：ABARE「Australian crop report (17 June 2008)」

注：5カ年平均は、2002/03～2006/07年度の平均であり、2度の干ばつ年度を含んでいる。

図－2 オーストラリアの小麦生産量及び輸出货量



資料：各国貿易統計、米国農務省「PS&D(2008.08)」

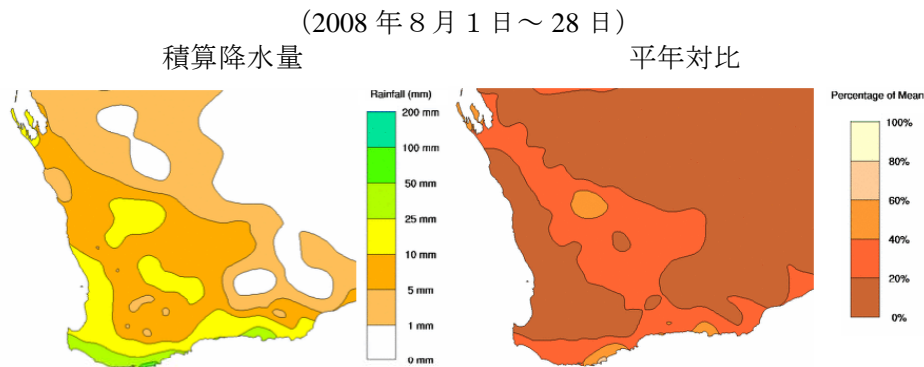
2 オーストラリアの小麦生産地域の降雨状況

(1) ウェスタンオーストラリア州

ウェスタンオーストラリア州の本年2月以降の小麦生産地域の4地点の降雨量をみると、作付直前の4月の降雨量は全地点で平年を上回っているもの、5月には降水量が減少し全地点で平年を下回っている。

6月には、エスペランス(④)を除き降水量が増加、パース(②)、オールバニー(③)で平年を上回り、7月には全地点で平年を上回っている。

8月(28日まで)は、降雨量はあるものの、大半の地域で平年の半分以下の降雨量となっている。



資料：オーストラリア気象局ホームページより

(参考) オーストラリアの小麦生産地域の降雨量測定場所

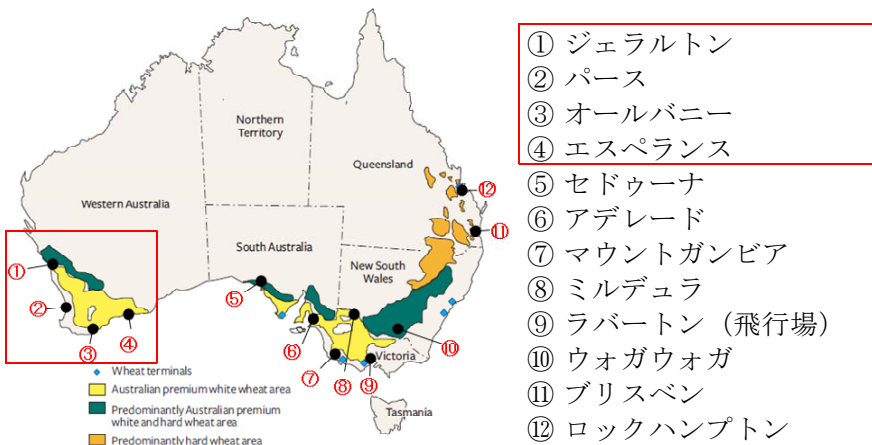
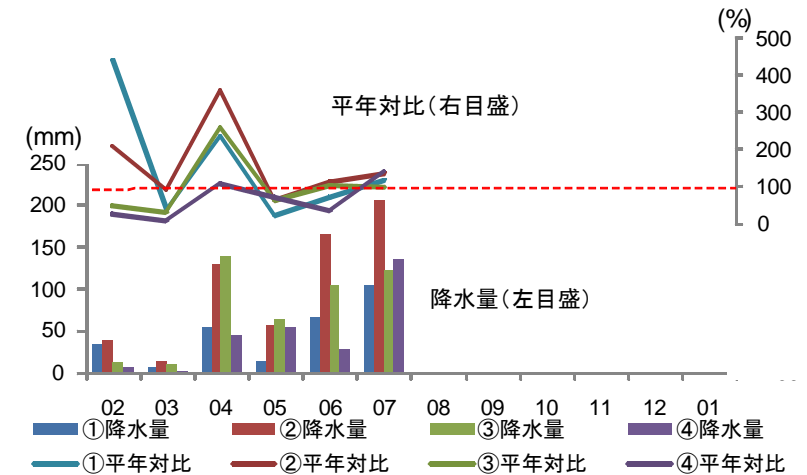


図-3 ウェスタンオーストラリア州の降雨状況

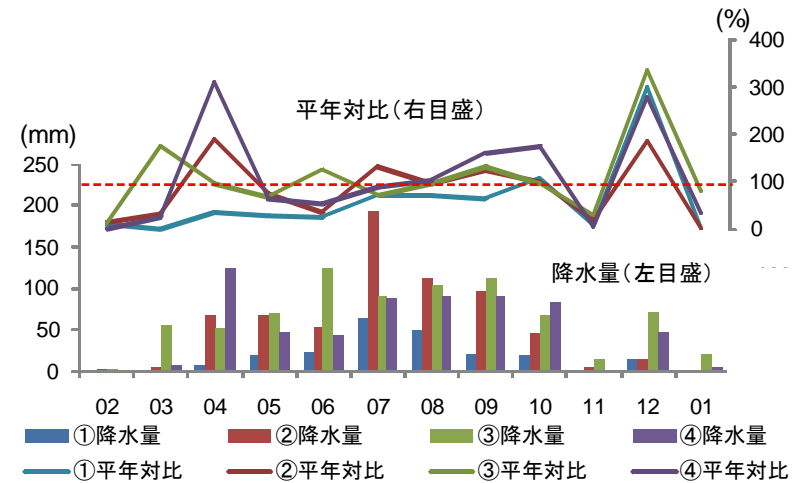
(2008年2月～7月)



資料：気象庁ホームページ「世界の月天候データ」より、農林水産省で作成

注：オーストラリアの小麦の作付時期は4月末から7月上旬であり、10月上旬から翌年1月にかけて収穫時期となる。

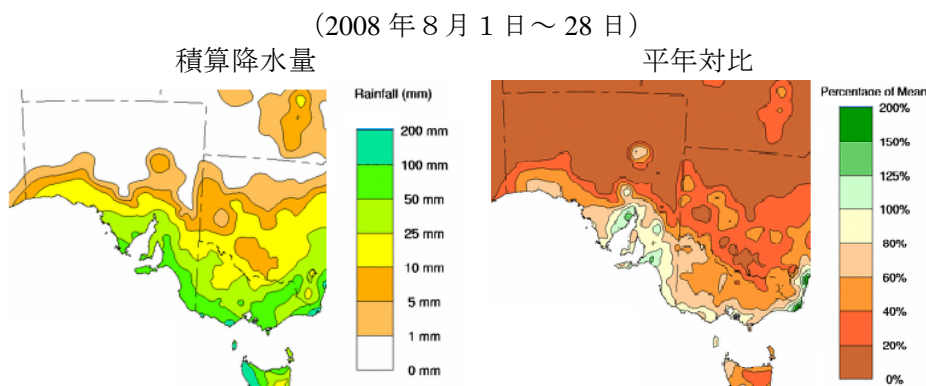
(参考：2007年2月～2008年1月)



(2) サウスオーストラリア州及びビクトリア州

サウスオーストラリア及びビクトリア州の本年2月以降の小麦生産地域の5地点の降雨量をみると、マウントガンビア(⑦)で2月に、ラバートン(⑨)で5月と7月に平年を上回った以外は、降水量が少なく平年を下回っている。特に比較的北側のセドゥーナ(⑤)、ミルデュラ(⑧)では降水量が少なくなっている。

8月(28日まで)は、サウスオーストラリア州の沿岸部などで降雨があり平年を上回る地域も見られるものの、ビクトリア州では平年を下回る地域が大半を占めている。



資料：オーストラリア気象局ホームページより

(参考) オーストラリアの小麦生産地域の降雨量測定場所

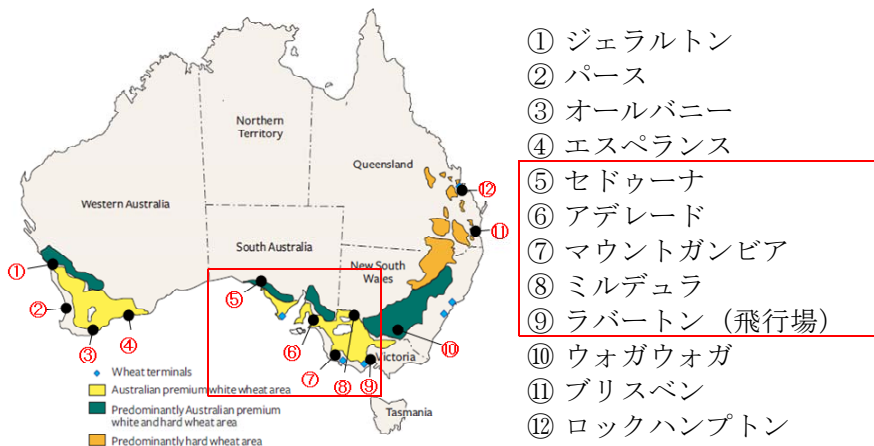
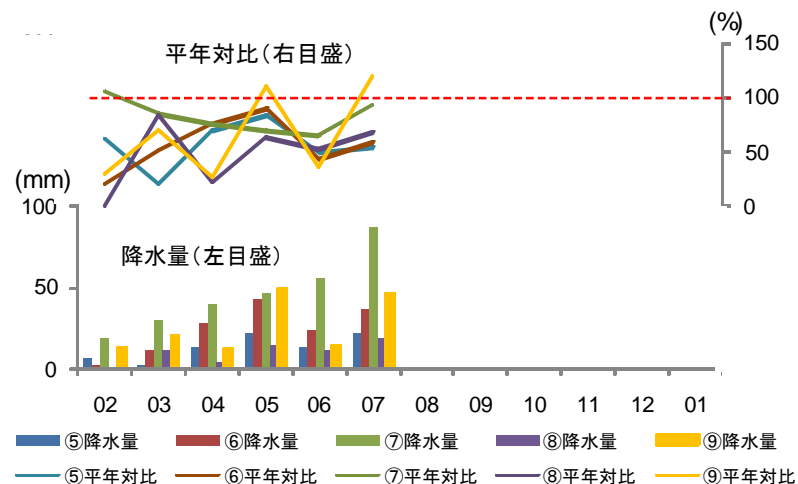


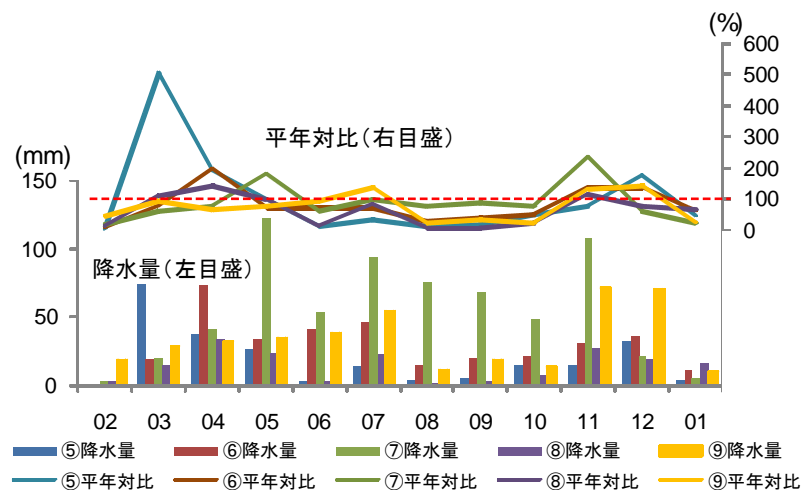
図-4 サウスオーストラリア州及びビクトリア州の降雨状況
(2008年2月～7月)



資料：気象庁ホームページ「世界の月天候データ」より、農林水産省で作成

注：オーストラリアの小麦の作付時期は4月末から7月上旬であり、10月上旬から翌年1月にかけて収穫時期となる。

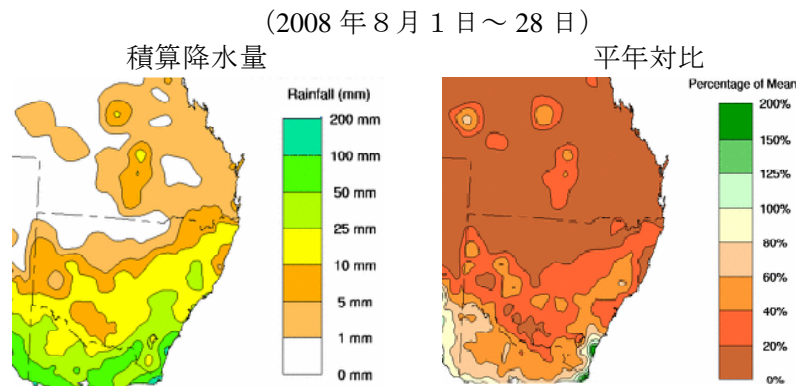
(参考：2007年2月～2008年1月)



(3) ニューサウスウェールズ州及びクイーンズランド州

ニューサウスウェールズ州及びクイーンズランド州の本年2月以降の小麦生産地域の3地点の降雨量をみると、2月に全地点で平年を上回る降雨量があった以降は、5月までは降雨量が少なく平年を下回って推移した。6月はブリスベン(⑪)で降雨量が増加し平年を上回り、7月にはウォガウォガ(⑩)が平年並みとなり、ブリスベン(⑪)とロックハンプトン(⑫)が平年を上回った。

8月(28日まで)は、降雨量はあるものの、大半の地域で平年の半分以下の降雨量となっている。



資料：オーストラリア気象局ホームページより

(参考) オーストラリアの小麦生産地域の降雨量測定場所

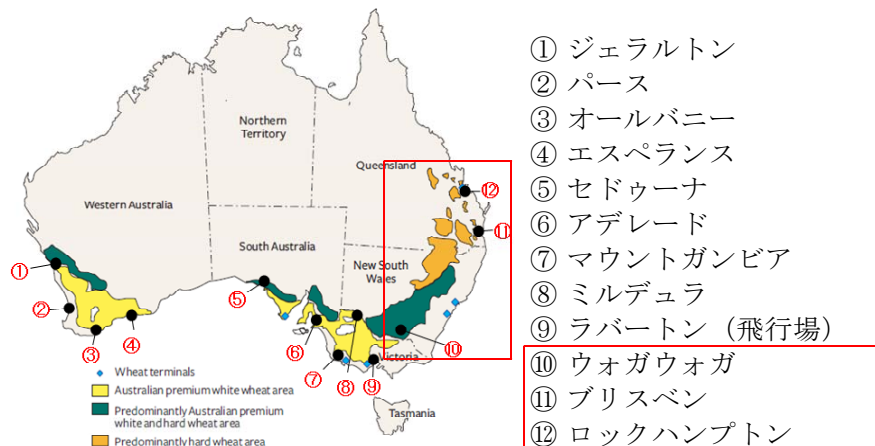
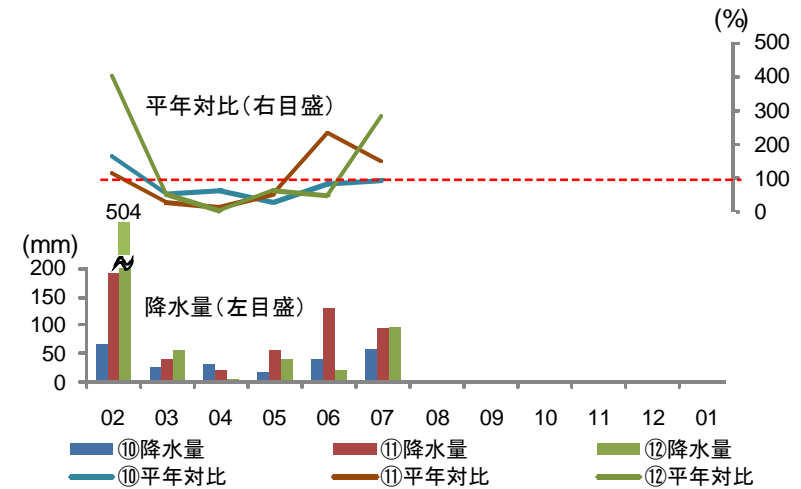


図-5 ニューサウスウェールズ州及びクイーンズランド州の降雨状況

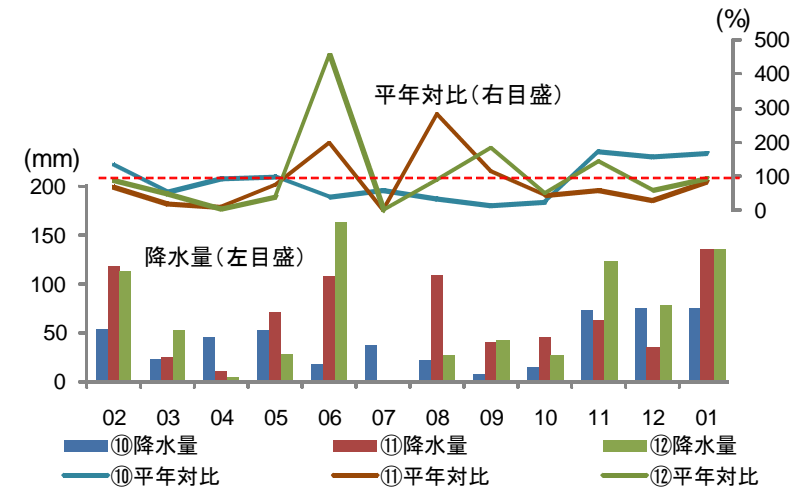
(2008年2月～7月)



資料：気象庁ホームページ「世界の月天候データ」より、農林水産省で作成

注：オーストラリアの小麦の作付時期は4月末から7月上旬であり、10月上旬から翌年1月にかけて収穫時期となる。

(参考：2007年2月～2008年1月)



3 オーストラリアの小麦生産の生産量見通し

豪州の小麦生産量の各機関の見通しをみると、豪州農業資源経済局（ABARE）、米国農務省（USDA）、国際穀物理事会（IGC）とも2,000万トンを上回る予測をしており、現段階では平年並みの生産量に回復すると見込まれている。

米国農務省は、5月の2,400万トンの予測を7月には100万トンほど上方修正し、8月時点でも2,500万トンの予測を継続している。

また、穀物理事会では5月の2,400万トンの予測を6月に100万トンほど下方修正し、8月に50万トン上方修正している。

オーストラリアの小麦については、早いところで10月上旬から収穫が始まるが、8月～10月の土壌水分が生育に大きな影響を与える。

昨年も8月以降に干ばつの影響から生産量の見通しが大幅に下方修正されている。

本年も8月の降水量については、28日までの状況をみると平年を下回っている地域も多く、今後、十分な降雨がなければ生育に悪影響を与える懸念もある。オーストラリア気象局の天気予報によると今月末から来月にかけて小麦生産地域での降雨も見込まれているが、今後の天候を十分注視していく必要がある。

表2 オーストラリアの2008/09年度の小麦の生産量見通し

単位:千トン			
	ABARE	USDA	IGC
5月	…	24 000	24 000
6月	23 680	24 000	23 000
7月	…	25 000	23 000
8月	…	25 000	23 500
(参考)			
2006/07	10 822	10 820	10 800
2007/08	13 039	13 040	13 000

資料：ABARE「Australian crop report (17 June 2008)」、
 USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
 IGC「Grain Market Report (31 July 2008)」

